

私立大学の多様性に着目した“人への投資”

2023.6.28

日本私立大学団体連合会

加速する人口減少やA Iなどの科学技術がもたらす急速な社会変化に対応するためには、より多くの国民が大学教育を受けることによって、一人ひとりの能力を高めていくことが必要である。

今後、社会課題がより一層多様化・複雑化する中において、わが国の未来を見据えれば、約8割の大学生が学ぶ私立大学の質の高い多様な教育研究に支援をすべきである。

1. 経常費補助の拡充

物価・電気料金の高騰や私立学校法改正に伴うガバナンス体制の強化に向けた経常的経費への支援をお願いしたい。

※学生総定員数約4万人の大規模の大学においては、前年同月と比較すると電気料金が約4,000万円増加するという事例もある。

※私立学校法の改正に伴い、外部者の増加が予想される評議員においては報酬基準の策定とその公表が義務化され、大臣所轄の大規模法人においては、常勤監事が必置化されることにより、とくに人件費の増加が見込まれる。

2. A I人材の育成

文理横断教育を推進するため基金の創設などの特別な支援

A I人材の育成を進めるためには、約8割の大学生の教育を担う私立大学の人文系における文理横断教育が喫緊の課題である。抜本的改革に取り組むことができるよう、文理横断教育を充実するための基金の創設などの特例措置をお願いしたい。

文理横断教育（数理・データサイエンス・A I）の文部科学省予算

（億円）

事業名		対象	R1	R2	R3	R4	R5
数理・データサイエンス・A I教育の推進							
1	数理・データサイエンス・AI教育の全国展開の推進	国立大学／運営費交付金	9	10	10	12	12
2	私立大学等における数理・データサイエンス・A I教育の充実	私立大学／私立大学等経常費補助			7	7	7
3	デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業～Xプログラム～	国公私大学／再推費				5	5

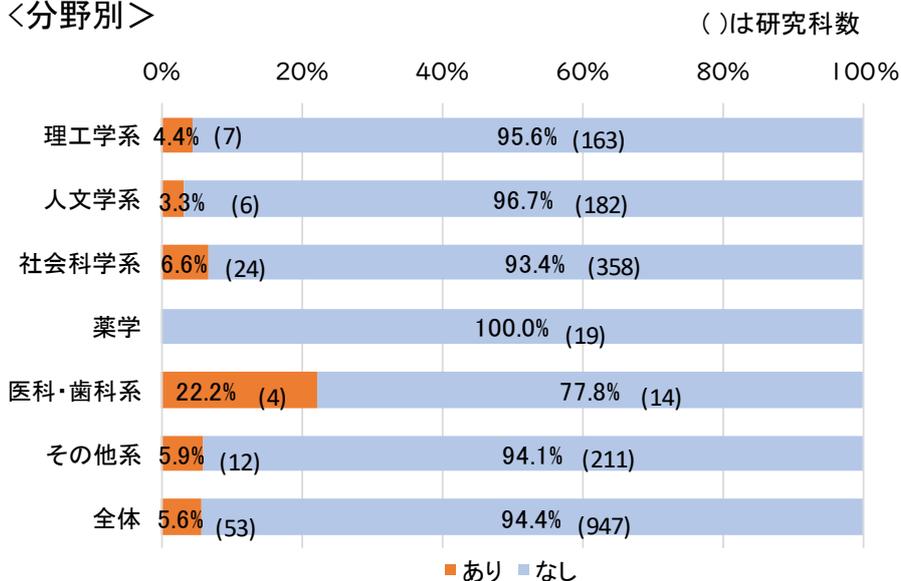
3. リカレント・リスキリング教育の推進

学び続ける社会を実現し知識基盤社会を盤石にしていくためには、大学と企業の相互理解を深め、私立大学のリカレント教育を一層推進していく必要がある。補正予算措置だけでなく本予算による抜本的な拡充と継続的な支援をお願いしたい。

また、政府の「5年間1兆円の施策パッケージ」においては、この5年間を学び直しとキャリアアップ・キャリアチェンジのサイクル期間と捉え、大学と産業界をマッチングするための仕組みとして、例えばマナパスの抜本的改組を含むデータベースの構築、コーディネーター人材の育成・確保等のための支援をお願いしたい。※「5年間1兆円の施策パッケージ」に関しては、大学と経団連の「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」での共同要望

大学院における産学連携プログラム(リカレント)の実施状況

<分野別>



「あり」の研究科における
実施プログラム数

分野	プログラム数
理工学系	10
人文学系	6
社会科学系	32
薬学	0
医科・歯科系	16
その他系	14
全体	78

出典：日本私立大学連盟「リカレント教育（大学院）の実施に関する調査」（令和4年）

- 産学連携によるリカレントプログラムは、全体で5.6%しか実施していない状況であり、どの分野においても少ない。
- 大学院でのリカレント教育を推進していくためには、企業側のニーズと大学側のシーズを可視化し、相互が有機的に連携していかななくてはならない。
- 企業と大学のマッチング機能の強化と、大学の運営費・人件費にかかる支援が必要である。

4. 地方活性化に果たす私立大学への支援強化

加速度的に進む人口減少の影響は、地方においてより深刻である。地方活性化（地方創生）の観点から、地元産業界等との連携による地域課題解決に向けた取組み等、地方に貢献する私立大学への支援強化をお願いしたい。